令和８年１０月１６日

第６学年保護者様

船橋市立宮本小学校
校　長　筒井　浩美

全国学力・学習状況調査結果のお知らせ

令和８年４月に小学６年生を対象に全国学力・学習状況調査が実施されました。その結果が通知されましたので、以下にその概要をまとめました。全体的には国語、算数ともにほぼ全ての項目で全国・県の平均を大きく上回っていました。本校では、この調査結果を活かして、児童の学力や学習状況を把握・分析し、教育内容の充実や授業改善に繋げていきます。

１　調査内容

・教科による調査（国語・算数）
・質問紙調査（学習意欲・学習内容・学習環境・生活習慣等に関するアンケート）

２　結果の概要と分析

【国語】　平均正答率は全国・県の平均を上回っており、選択式・短答式・記述式のいずれも平均以上です。特に自分の意見を相手に伝えたり、相手の話を整理して聞いたりする力が非常に高く育っています。項目全体を見ると、「書くこと」や「記述式」の数値が低く、自分の考えを組み立てて文章で表現する場面にやや伸び悩みが見られます。

【算数】　平均正答率は全国・県の平均を上回っており、計算や文章題が得意です。特に「変化と関係」や「記述式」は全国・県平均を大幅に上回っています。「図形」領域において、なぜその公式になるのかという意味理解や、図形を構成する要素に着目して問題を解決する力に課題が見られます。

【質問紙】

「自分にはよいところがあると思いますか」や「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」の問いに約９０％の児童が肯定的で、教員からの承認を感じながら学校生活を送っていることが示されました。周囲からの肯定的な働きかけも背景となり、「学校に行くのは楽しいですか」という問いにも肯定的な答えが非常に多く見られました。また、「あなたの学級では人と違う意見を言っても否定されないと思いますか」の問いに対する、肯定的な回答が全国平均より８ポイント高く、自己有用感・自己肯定感が高い結果となりました。一方で「学校での悩みについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか」や、「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」の問いの回答は全国・県平均を下回ってしまいました。

３　今後の教育活動・授業改善

・自分の考えを組み立てて書く活動を計画的に授業に組み込んでいきます。
・語彙を増やすため読書活動を推進していきます。
・授業や行事を通して日々の対話・声かけ・励まし・賞賛等を行い、成長したことを振り返らせていきます。
・悩みを抱えた際、気軽に相談できる体制の構築やＳＯＳを出す力の獲得に向けて、引き続き取り組みを推進していきます。